

キャラクター名
九重 近衛(コノエ コノエ)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ プラム=ストーカー		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	UGNチルドレン
	ソラリス		年齢	高校生	性別	男
オプション						
覚醒	命令	衝動	妄想		初期侵食率	33 %
出自	待ち望まれた子	経験	裏社会		邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	18
感覚	5	1	2			8	(非装備時)	18
精神	2	0	0			2	戦闘移動	23
社会	0	0	1			1	全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	12		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: その他	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ:UGN幹部	
コネ:玉野椿	
造血剤	
デモンズシード	
メモリー:夏祭りの思い出	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
業師	P	N		
父親	P 尊敬	N 不信心		
玉野椿(師匠)	P 尽力	N 猜疑心		
	P 感服	N 敵愾心		
	P 幸福感	N 憤懣		
	P 感服	N 嫌悪		
	P 感服	N 隔意		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー					
効果: クリ値-Lv(下限値7)								
光の手(工)	1	2	メジャー					
効果: 【感覚】で判定可能になる								
★ピンポイントレーザー(工)	4	2	メジャー					
効果: 装甲無視。しかし攻撃力-[5-Lv]※最大0								
紅の刃(ブ)	8	1	メジャー	視界				
効果: 攻撃力+[Lv+1]								
★ブラッドバーン(ブ)	3	4+1	メジャー				80	
効果: 攻撃力+[Lv×4]。メイン終了時、HP-5								
★業師:マスヴィジョン(工)	3	4	メジャー				100	
効果: 攻撃力+[Lv×5]。※シナリオ3回								
★聖なる血槍(ブ)	3	4	マイナー	至近		自動	妄想、120	
効果: 装備してる武器を1つ指定し、[Lv×5]点以下の任意の値のHPを消費。シーン間、指定した武器の攻撃力orガード値を+ [HPを消費した値] する※ [RC]でも可!								
★アクセル(ソ)	4	3	セット	視界	単体	自動		
効果: ラウンド間、対象の行動値+[Lv×2]								
★幻惑の光(工)	1	2	メジャー	視界		対決		
効果: パステ:放心								
竹馬の友(ソ)	1		メジャー	視界	単体	自動		
効果: エキストラの信頼を得る。								

「僕はウイルスの言いなりにもなりたくないし、化け物として駆除も、研究素材にもされたくないだけですよ」
「はあ、大人しく捕まって欲しいんだけど。必要以上に時間をかけて傷つけて捕獲したら、僕の能力不足を疑われるじゃないか」

『欲望のエゴイズム』キャンペーンHO2

・父がUGN研究員で、小さい頃から父にレネゲイドウイルスやオーヴァードについて(能力、危険性を含め)学んでおり、いつか自分も研究員になることを夢見ていた。元は普通の人間で、「さすがお父さんの子だ!」と言われることを嬉しく思ってた少年。なのでもっと褒められたくて勉強をたくさんした&分らないところがあるのが嫌だった結果、成績優秀に育った。父親としては、元々近衛をUGNに関わらせるつもりがあった。【出自:望まれた子】
・10~12歳、父親にオーヴァードになることを命じられる。「でも、オーヴァードは危ないでしょ…?」と僅かに拒否を示せば「だから今まで関連する知識を教えただ。お前なら上手く応用できるだろう? ……なんだ、できないのか?」と返され、酷く冷たい父の一面を垣間見る。しかし今まで褒めてもらえてたことと『出来ないこと』がなかったプライドから「そんなことはないよ…、だって僕は、お父さんの子だから…?」と受け入れる。それ以降、父に対するマイナス感情が生まれ、父やUGN関係者の前では優等生の猫を被るようになる。【覚醒:命令】 【ロイス:父親】
・オーヴァードとして覚醒した後、歳も近いからと玉野椿に力の使い方を学んだ。それ以来、UGNの中では気の置ける相手として、安全地帯的な相手として見ていた節がある。椿さんは近衛が目につかないように努力しているのも多分気付いてるし、仮に猫がぶっついても本来の性格きつとバれてる←。その時のRP次第だけど、猫被らないかも 【ロイス:玉野椿】
・本来は使えないと言われるエフェクトを優等生気質のクソ高プライドにより己のものとした。いっそ執念…。【Dロイス:業師】
・《竹馬の友》は、戦闘ではあまり使えていないソラリスの能力を1番有効に活用していると思っている。任務内容には興味無いが、ミスなく、効率よく、素早く最良の結果を持ち帰りたいと思っている近衛には大変ありがたい能力。情報は任務達成の鍵【イージーエフェクト】

・性格悪げな優等生。外面はとてつもない。
・ちょっと鼻で笑う感じ? 嫌味とか……言いそうだけど言えるか? (私が)